

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 欧州インカム資産ファンド（毎月決算型）」は、このたび、第30期の決算を行いました。

当ファンドは欧州地域の企業が発行する債券および株式等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 欧州インカム資産ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／資産複合

第30期末(2019年2月22日)

基準価額	8,601円
純資産総額	47百万円
第25期～第30期	
騰落率	△ 2.9%
分配金(税込み)合計	510円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第25期(決算日 2018年9月25日)

第26期(決算日 2018年10月22日)

第27期(決算日 2018年11月22日)

第28期(決算日 2018年12月25日)

第29期(決算日 2019年1月22日)

第30期(決算日 2019年2月22日)

作成対象期間(2018年8月23日～2019年2月22日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル:(03)6447-3100

(受付時間:毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

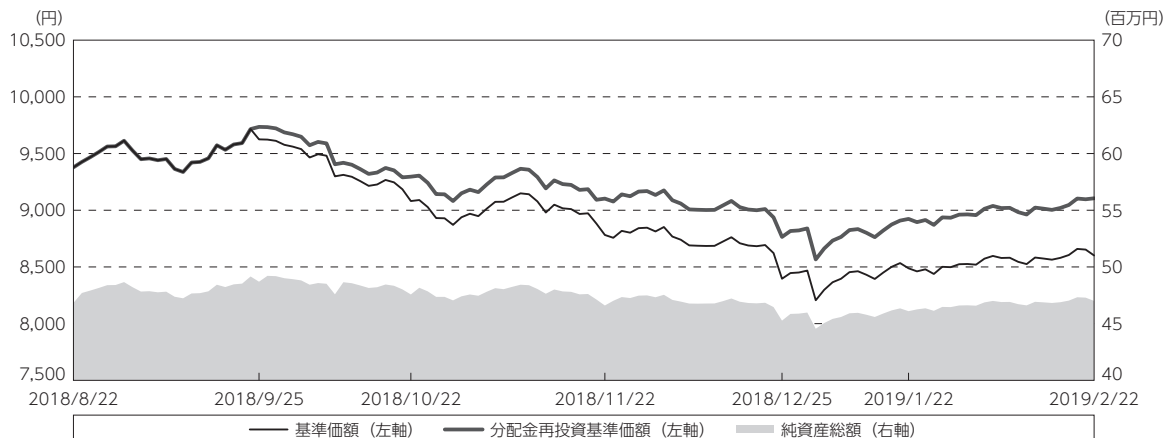


見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年8月23日～2019年2月22日)



第25期首：9,378円

第30期末：8,601円 (既払分配金(税込み) : 510円)

騰落率：△ 2.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年8月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・ 欧州地域の企業が発行する債券および株式などを実質的な主要投資対象とし、債券、株式の銘柄選択に当たって高いインカムに着目した結果、株式の配当や債券のクーポン収入を通じて着実にインカム・ゲインを獲得したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・ 債券、株式などの資産配分については、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更した結果、米国発の貿易戦争の不透明感や英国の欧州連合(EU)からの離脱(ブレグジット)問題などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州主要国の長期金利が低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・世界経済の減速懸念や英国のブレグジット交渉の難航などにより欧州株式市場が軟調に推移したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、円高/ユーロ安で推移したことが、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年8月23日～2019年2月22日)

項目	第25期～第30期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38	0.425	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.061	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.041)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	43	0.486	
作成期間の平均基準価額は、8,985円です。			

(注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

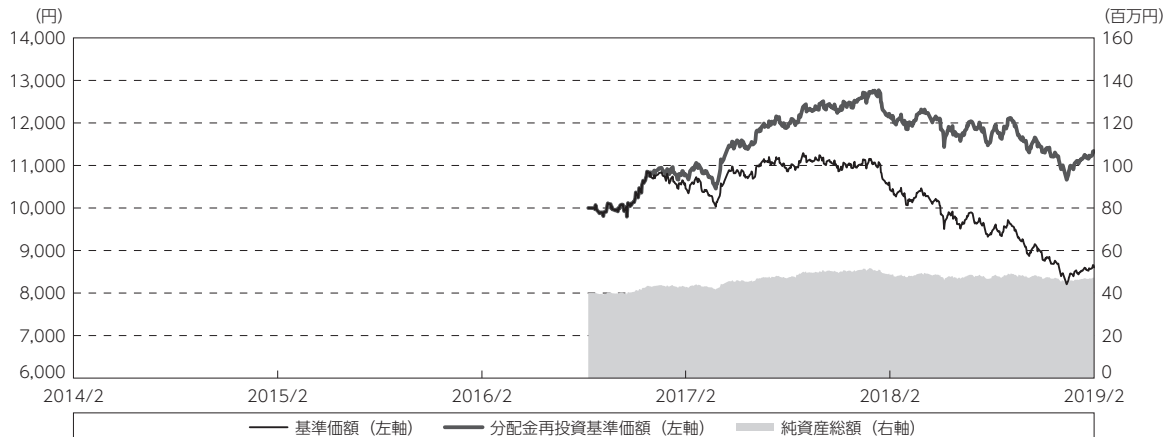
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (親投資信託を除く) が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(2014年2月24日～2019年2月22日)

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2016年9月2日です。

	2016年9月2日 設定日	2017年2月22日 決算日	2018年2月22日 決算日	2019年2月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,460	10,440	8,601
期間分配金合計(税込み) (円)	—	330	1,320	1,170
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.9	12.7	△ 6.8
純資産総額 (百万円)	40	42	48	47

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年2月22日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、自由度の高い運用手法を用い、市況動向に応じて債券、株式等の資産配分を積極的に変更する運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

(2018年8月23日～2019年2月22日)

投資環境

＜株式市場＞

FTSE 100 指数 (英国)	△5.2%	DAX 指数 (ドイツ)	△7.5%
CAC 40 指数 (フランス)	△3.8%		

※株価指数の騰落率は当作成期末時点 (対前作成期末比) の数値です。

当作成期間中、欧州の主要株式市場は下落しました。作成期初から2018年12月末にかけては、①米国と中国との貿易戦争に対する懸念、②世界経済の減速懸念、③イタリアの2019年予算案の不透明感、④英国のブレグジット交渉の難航などを背景に株式市場は大きく下落しました。しかし2019年1月に入ると、①米中貿易交渉の進展への期待、②米連邦準備理事会 (FRB) の金融政策のハト派スタンス (金融緩和を選好) への転換一などが好感され世界的に投資家心理が改善する中、米国株式市場の大幅高も追い風となり、欧州の主要株価指数は軒並み上昇に転じました。しかしそれまでの下落幅が大きかったため、作成期を通じてみると下落となりました。

＜債券市場＞

英国10年国債利回り 1.16% (前作成期末 1.27%) ドイツ10年国債利回り 0.10% (同 0.34%)

※上記は当作成期末の数値です。

当作成期間中、英国やドイツなどの欧州主要国では長期金利が低下しました。作成期初から2018年10月中旬までは、①欧州中央銀行 (ECB) が緩和的な金融政策を解除する姿勢を維持したこと、②英国のブレグジット合意に対する期待感の高まり、③米国国債利回りの上昇 (債券価格は下落) 一などから長期金利は上昇しましたが、その後は①米国発の貿易戦争の先行き不透明感、②世界的な株式市場の大幅な下落、③FRBのハト派転換による米国国債利回りの低下などを背景に、欧州主要国の長期金利は低下基調で推移しました。作成期を通じてみると、2018年10月中旬以降の金利低下が大きかったため、長期金利は前作成期末比で低下となりました。

＜為替市場＞

＜対円為替レート＞

1 ユーロ = 125 円 60 銭 (前作成期末 127 円 58 銭)

※当作成期末の数値です。

為替市場では、円高/ユーロ安となりました。当作成期間中、①米中の貿易戦争に対する懸念、②世界経済の減速懸念、③イタリアの2019年予算問題の不透明感、④英国のブレグジット交渉の難航一などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから円が買われる展開が続き、ユーロは対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年8月23日～2019年2月22日)

インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、欧州地域の企業が発行する債券および株式などに実質的に投資しました。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目しました。また、債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行いました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ パン・ヨーロッパ・ハイ・インカム・ファンド クラスC-QD 投資信託証券 (ユーロ建て) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として欧州地域の企業が発行する債券および株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更しました。具体的には当作成期を通じてハイ・イールド社債の組み入れを高位としました。国別配分では、英国、米国、ドイツ、フランスを中心に運用を行いました。

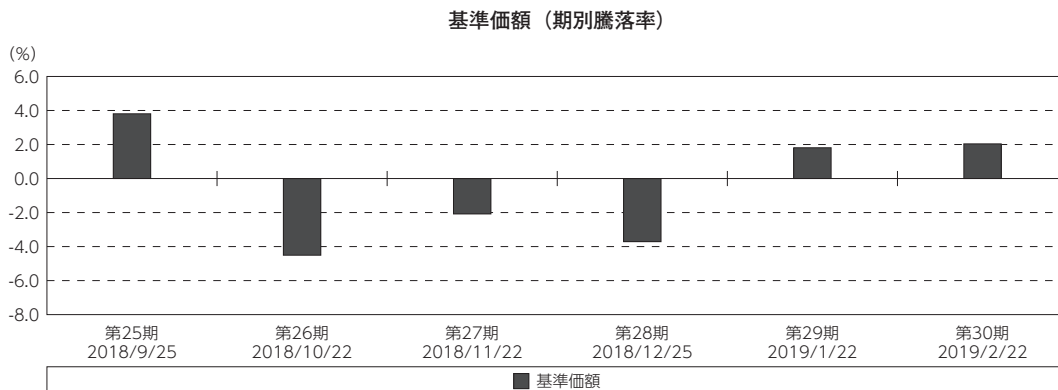
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年8月23日～2019年2月22日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(2018年8月23日～2019年2月22日)

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第25期～第27期まで1万口当たり110円、第28期～第30期まで1万口当たり60円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期
	2018年8月23日 ～2018年9月25日	2018年9月26日 ～2018年10月22日	2018年10月23日 ～2018年11月22日	2018年11月23日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月22日	2019年1月23日 ～2019年2月22日
当期分配金	110	110	110	60	60	60
(対基準価額比率)	1.130%	1.197%	1.237%	0.710%	0.702%	0.693%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	110	110	110	60	60	60
翌期繰越分配対象額	7,772	7,662	7,552	7,560	7,500	7,440

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、欧州地域の企業が発行する債券および株式などに実質的に投資します。債券、株式の銘柄選択に当たっては、高いインカムに着目します。債券、株式などの資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ パン・ヨーロピアン・ハイ・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券(ユーロ建て)に投資を行います。同外国投資信託では、主として欧州地域の企業が発行する債券および株式などに投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更する方針です。具体的には、市場動向に応じて債券、株式、キャッシュなどへの資産配分を積極的に変更し、発行体企業のファンダメンタルズ分析やリスク・リターンのバランスを考慮しながら銘柄選定を行います。投資先のセクターでは、引き続き金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、財務体質が健全でデフォルト・リスクが低く、魅力的な利回り水準が期待できるハイ・イールド社債を選好します。株式の選定では、バランスシートが健全かつバリュエーションが割安と考える企業に投資を行います。引き続き、積極的に資産配分を調整し、相対的に高いインカム収益と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

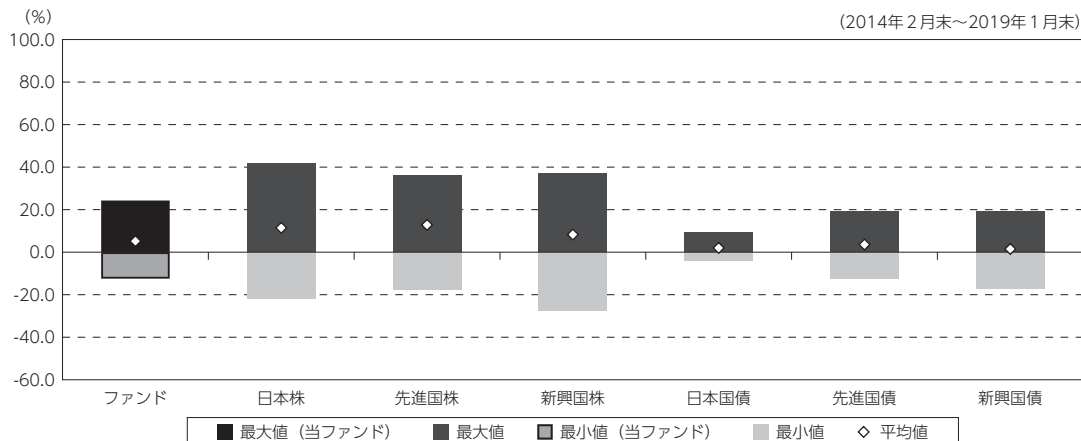
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2026年8月24日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として欧州地域の企業が発行する債券および株式等に実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 欧州インカム資産ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として、欧州地域の企業が発行する債券および株式等に実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ パン・ヨーロピアン・ハイ・インカム・ファンド クラスC-QD投資信託証券(ユーロ建て)です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として欧州地域の企業が発行する債券および株式等に実質的に投資します。 ・債券、株式の銘柄選択にあたっては、高いインカムに着目します。債券、株式等の資産配分は、自由度の高い運用手法を用いて積極的に変更を行います。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時(毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.2	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5
最大値	24.3	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-12.5	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年9月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年2月22日現在)

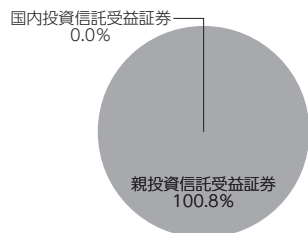
○組入上位ファンド

銘柄名	第30期末
インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド	100.8 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

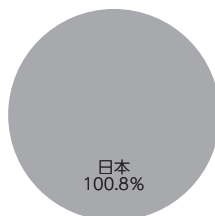
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

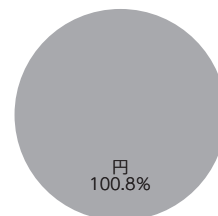
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末	第30期末
	2018年9月25日	2018年10月22日	2018年11月22日	2018年12月25日	2019年1月22日	2019年2月22日
純資産総額	48,698,724円	47,573,465円	46,599,830円	45,266,471円	46,098,841円	47,004,175円
受益権総口数	50,595,509口	52,389,701口	53,062,096口	53,916,581口	54,310,832口	54,652,730口
1万円当たり基準価額	9,625円	9,081円	8,782円	8,396円	8,488円	8,601円

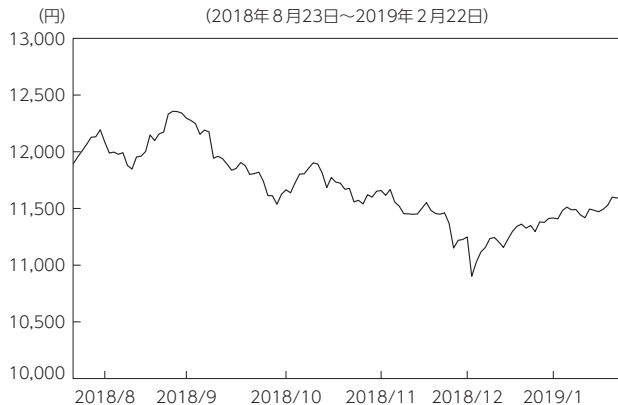
* 作成期間 (第25期～第30期) 中における追加設定元本額は4,876,578円、同解約元本額は162,305円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年8月23日～2019年2月22日)



【1万円当たりの費用明細】

(2018年8月23日～2019年2月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	円 1 (1) (0)	% 0.007 (0.007) (0.000)
合計	1	0.007

期中の平均基準価額は、11,728円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

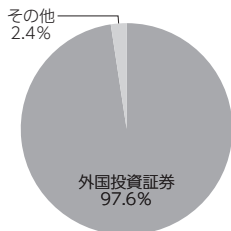
(2019年2月22日現在)

銘柄名	第5期末
インベスコ パン・ヨーロッパ・ハイ・インカム・ファンド クラスC-QD	% 97.6
組入銘柄数	1銘柄

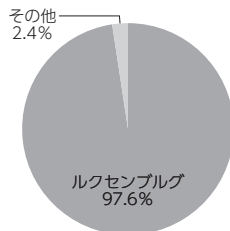
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

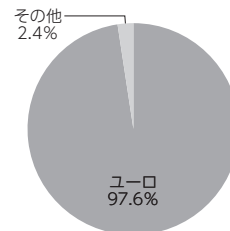
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人
インベスコ パン・ヨーロピアン・ハイ・インカム・ファンド

「インベスコ 欧州インカム資産 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ パン・ヨーロピアン・ハイ・インカム・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

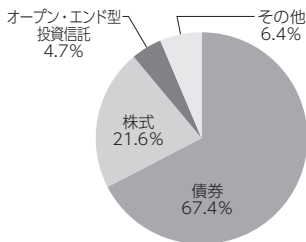
(2018年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Invesco Short-Term Investments Co Global Series - Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	3.7
2	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 0.5% EUR 15/08/2027	債券	1.3
3	Invesco Short-Term Investments Co Global Series - Sterling Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	1.0
4	United States Treasury Note/Bond 2.5% USD 15/02/2046	債券	0.9
5	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 1% EUR 15/08/2025	債券	0.9
6	Telefonica Europe BV 6.5% FRN EUR Perpetual	債券	0.9
7	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 0.9% EUR 01/08/2022	債券	0.9
8	Roche Holding AG	株式	0.8
9	Novartis AG	株式	0.8
10	TOTAL SA	株式	0.7
組入銘柄数		585銘柄	

(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

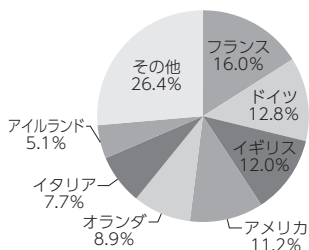
【資産別配分】



(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

【国別配分】



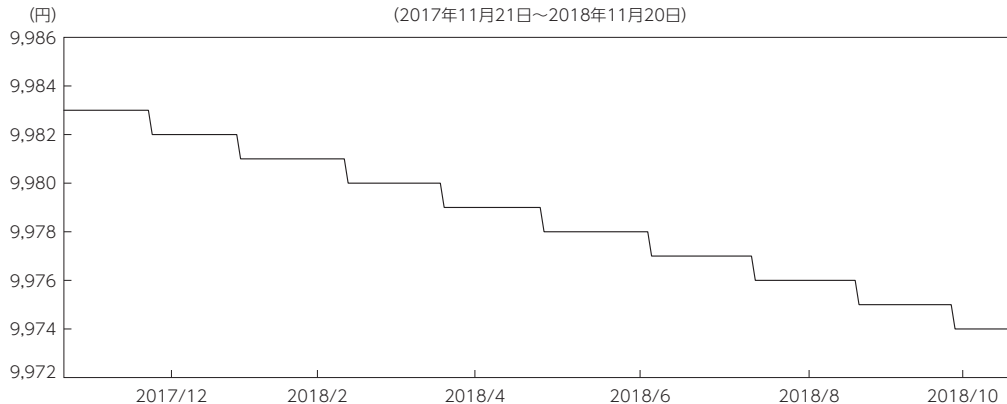
【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2017年11月21日～2018年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、9,978円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。